

平成28年度 第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成28年8月27日（土）18時30分～

金沢市保健所 3階 駅西健康ホール「すこやか」

長田町、戸板、西、大徳（校下・地区）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

皆さん、こんばんは。

朝雨が降ってどうなるかと思いましたが、今日まちなかで行事がたくさんありましたので、私もたくさん参加してきましたが、今朝の雨で逆に過ごしやすい、蒸し暑くはありませんでしたが、そんなに暑さを感じない一日で良かったのではないかなと思っています。

そんな日の夕方にこうやって皆さん方にお越しいただきました。心から感謝を申し上げます。

実は去年の秋から暮れ頃にかけて、町会連合会の役員の皆さんといろいろ話をしています、年度が変わったら新年度予算のことを、私が町会連合会や各種団体の皆さんに説明させていただく場ができないかという話をしていました。金沢市内を幾つかに分けてそんなことができないかと話をしていましたところ、今年の1月に家庭ごみの有料化について、審議会から答申をいただきました。家庭ごみの有料化を進めるにしても、もっともっと丁寧に説明を重ねていくように、という答申をいただいたこともありましたので、4月、5月の2カ月間で、金沢市内を9つのブロックに分けて、土曜日、日曜日を使わせていただきました。ここにいらっしゃる多くの皆さんの中にお越しいただいた方も多いのではないかなと思っています。時間がなかったのですが、新年度の予算のことは少し短めに、家庭ごみのことについていろいろと意見交換をさせていただきました。

今は担当部署から町会連合会や町会に入って、意見交換をさせていただきながら、ご理解をいただくべく取り組んでいるところであります。

今日は、事前にここにいらっしゃる4つの校下の皆さんと事前に担当部署が打ち合わせをさせていただきながら、地域の課題を挙げていただいて、その地域の課題についていろんな、これこそ先ほどありましたように、地域の皆さんと一緒に行政と話し合っているという趣旨であります。

後から今日は何時までという話があると思いますが、時間がありましたら、どんなことでも僕は受けたいと思っていますので、実りある会になりますよう、ぜひご協力をよろしくお願いします。

ありがとうございました。

(2) 地域代表あいさつ

【大徳地区連合町会 会長 高島 菊丸 氏】

皆さん、こんばんは。

今年は大変暑い日がずっと続いていまして、今日も暑いのかなと思っていましたが、何とか少し涼しくなって、討論にはちょうどいい気候になったかなと思っています。

新幹線が開業して少し落ちついた感じではありますが、それぞれの地区にも新幹線絡みの問題もあろうかと思っています。昔から抱えるそれぞれの地区、今日は長田を始め、戸板、西校下、そして大徳と4つの校下から皆さんお集まりでございますが、それぞれの地区に特色ある問題があるかと思っています。

今日はそれぞれの問題を持ち寄って、忌憚のない話を出しながら、金沢市当局とともに考えながら、それを解決していく。また、市当局には、それぞれ我々の地域の問題をしっかりと受けとめて、安心・安全のできるまちづくりに役立てていただきたいなと思っています。

今日はそれぞれの意見をしっかりと出して、市とともに考えるというまちづくりミーティングでございますので、最後までよろしく願いいたします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

① 駅西（金沢港口）の景観の向上・自然との調和（長田町）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【長田町校下町会連合会】

一つ、土木局長にお願いといたしますか。

というのは、無電柱化工事の区域ですが、中橋交差点から長田中央交差点までの間は、県が近々に施行する区域に入っていないし、市としてもその区域は無電柱化促進区域内に

入っていないですね。中橋交差点から金石街道へ向かって見ますと、右側は昭和50年代に区画整理をして無電柱化になっていますが、左側は電柱があります。

そういう不自然な景観の中で、県も今のところ計画がない、市の促進区域にも入っていないとなると、これはいつ施行になるかわからない。やっぱりその区域だけは早急に促進区域内に入れて無電柱化の推進をしていただきたいと思います。

【浅川土木局長】

今のお話でございますが、促進区域に入れたところについては、確かに計画路線を決めて優先的に順番でやっていくということですが、それ以外のところは、全然やらないというわけではなくて、実際に重点区域以外でも無電柱化されている路線はかなりあります。

先ほども言いましたように、いわゆる緊急輸送道路というのは地震の時に通行を確保しないといけない路線なので、そうした路線については各道路管理者が計画的に無電柱化をしているというのは事実でございます。

ご指摘のように、促進区域に入れることも確かに一つの方法ではありますが、一方で、いわゆる災害に強い輸送路を確保するという観点で、どうした路線が望ましいかについては、今のところは各道路管理者でそれぞれ考えていますが、各道路管理者が寄って意見を交換するという場も必要だと思っていますので、そうした場を作りながら、促進区域以外のところについての無電柱化も考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【長田町校下町会連合会】

1番目の、この無電柱化というのは景観かと思いますが、今は昔と違って、我々の時代に旅行する人は鞆を持っていったんです。今はみんなキャリーバッグを持っているので、歩道を歩いたらわかると思いますが、段差があると非常に不便です。新しい歩道は皆、できるだけ段差がないようになっていますが、ぜひその辺も併せて考えていただければと思います。

それと、芸術村ですが、金沢市の方はご存じかどうか知りませんが、利用している人に聞くと、世界に誇れる芸術村だということを言われています。ですから、ぜひ、観光客も含めて、もちろん金沢市民、石川県民も含めてですが、そこに導き入れるためにも、アートロードというものを、道路は狭いでしょうけれども、ぜひ作っていただければと思っています。

3番目の木曳川は、私も実際住んで二十五、六年しか経ちませんが、昔はどうか知りませんが、最近のカモが良く餌取りに来るようになりました。小さい魚もいます。

ただ、それを継続していくために地元として何をしなきゃいけないか、あるいは市当局として何をしていかなきゃいけないかをはっきり議論する必要があるのかなと思っています。

【浅川土木局長】

今のことですが、段差がないのはバリアフリーということでして、無電柱化に限らず、歩道の段差をなくしていくバリアフリー化の整備はしていますので、それは積極的に取り組んでまいりたいと思っています。

芸術村にはお話があったように、非常に素晴らしい施設だと言っていただいて、本当にありがたいと思っています。そこに導くルートということですので、どんな方法がいいかについては、関係者と話をしながら、私ども道路を管理する側ですが、それ以外の部局とも連携をとりながら考えていきたいと思っています。

木曳川については、河川の整備は下流側からしていかないとなかなか効果が出ないので、どうしても下流側からやらざるを得ないという状況もあります。

一方で、恐縮ですが予算の話もありまして、河川の整備についてはゲリラ豪雨などの被害が全国各地で発生していますので、国にも積極的な予算付けをお願いしながら進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

②防犯力向上による安全・安心なまちづくり（戸板）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【戸板校下町会連合会】

先ほどの街路灯の話ですが、この秋に、戸板校下全体で新興住宅地に各町会から余っている街路灯を分けてもらうという話を進めていたところですが、先日、電気店の方から、もう街路灯の予算は底を尽きましたと。8月なのに早くも予算がないというのは、どういふことでしょうか。

【中川危機管理監】

予算につきましては、できるだけ安全・安心な暮らしの確保という観点で、ある一定の数が来れば予算が消化されることになるのですが、地域の皆様方のそういった声をもとに、必要であれば補正予算を計上させていただきたいと考えています。

できるだけ皆様方のご要望に応えるように努力したいと考えています。

③子供とお年寄りが融合できるコミュニティづくり（西）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

④公共レンタサイクルの導入による誘客促進と地域活性化について（大徳）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【大徳地区連合町会】

この間、バスに乗っていましたら、言葉がたどたどしい外国の方が、海みらい図書館へ行くにはどこで降りたらいいか、と聞いていました。その図書館へわざわざ外国の方が見学に来るという現実ですね。そういう人がいる中で、実は港から金石方面にもいろんな史跡など見るものがある。だから、そこの連携があれば、そういう人たちも、図書館へ来たついでに一回りするか、ということが生まれてくるのではないかと思いますので、ぜひ検討のほどよろしく願いいたします。

【平嶋都市政策局長】

交通アクセス等々を、観光客の方々もそうですし、そこにお住まいの方々の日常生活の中でアクセスを向上することは非常に大事だと思っていて、そういったものの検討を進める中で、ご提案の件、回遊性の向上について引き続き研究をしてみたいと思っています。

(4) 共通課題についての討議

①共通課題「子供を育むコミュニティづくり」（戸板、西）

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参考願います。

【山野金沢市長】

補足します。

僕は長坂3丁目に住んでいます。子供たちは、もう大きいんですが、長坂台小学校に通ってました。長男は学童野球をずっとやっていました。長坂台の子供のお世話をする方が賢いと思うのは、毎年、年度末に集まるんです。PTA、学童野球、少年サッカー、児童クラブ、ミニバスもいたかな。年度末集まって新年度の行事をお互いに全部出します。それは試合とか、公式戦とか、これは地域だけで決められませんから、まずそういうものをフィックスしていく。決めていって、できるだけ学童野球の練習試合だとか、少年サッカーの何かだとか、児童クラブのイベントは、自分らで決められるものはできるだけ重ならないようにして決めます。決めて、お互いできるだけ参加しようとしています。

今言いますと、子供が学童野球をやっていたから、長坂台の児童クラブのバザー、僕、毎年参加していました。学童野球の父親として毎年参加して、そこでいろんな買い物したりだとかもしていました。結構にぎやか。多分、今もやっていると思いますので。

確かにいろんな価値観があって、習い事もたくさんあるから難しいのかもしれませんが、工夫を重ねることによって少しでもそんなことができればなど。少しでも地域の子供たちがいろんな行事に関われる環境を、チャンスを提供することが、我々の工夫、大人の工夫でできるのではないかと考えています。

もう一つ、父親の会というのが、西小学校も多分あるのではないかとと思いますが、長坂台小学校は今も父親の会がいろんなことをやりますが、市が父親の会を集めて年1回か2回、これ教育委員会ですよね、集めて、いろんな意見交換という名前の飲み会をしています。僕は行ったことがないんですけども。

そこでいろいろと情報を集めて、長坂台小学校の父親の会は、小学校でいろんな工夫をするんですが、伏見台小学校がペットボトルロケットか何かを作って、すごく楽しいと。長坂台小学校のお父さん方も見に行って、翌年から長坂台小学校でもやり出しました。

そういう父親の会であったり、そんなところに我々大人が出ていって意見交換して、その地域のものと一緒にやったりだとか。長坂台は雪合戦大会というのをやった。これは長坂台校下だけじゃなくて、幾つかの校下が関わっていますが、そうやって大人同士が連携をとることによって、子供にいろんなイベント、行事を提示するというのも大切では

ないかなという、ささやかながら僕の経験から申し上げました。

【西校下町会連合会】

今、山野市長からいろんな経験談お聞かせいただきまして、大変目からうろこといいですか、ああ、そうだなというところがございました。ありがとうございます。

いわゆる少連が子供たちのためにいろんな行事を考えるけれども、他の習い事と違ってなかなかうまくいかない、というのが現状でございます。

そこで、大変恐縮ですけれども、学校行事の中で地域が入れないか。たとえば、我が地域の長田中学校には伝統的な演芸を指導する行事が年に一度あります。校下にお住まいの多くの先輩たちは演芸会をやってきた方々ばかりですが、その方々はそれを見る機会がない。なんとか地域と学校の融合を考えると、演芸会に参加するとか、あるいは学校で行われる運動会などに地域の方々が参加できるプログラムがあつたりすると、より地域のほうで子供を育む。

私の子供時代は、向かいのおじさんや隣のおばさんによく叱られたものです。あんまりいい子供ではなかったのでよく叱られましたが、最近、隣の子供を叱ったり、向かいの子供を叱ったりするということがないように見受けられます。その大きな原因は、やはり地域の子供と大人たちが触れ合う機会があまりにも少ないからではないかと考えています。

それを考えると、今申し上げたように、子供会が何かをやるのはもちろん大事ですし、やっていただくのは結構ですけれども、それを学校行事の中で行うと、地域の方々が参加しやすい。学校行事と地域の方々の融合を図る方法はございませんかということ。

先ほど教育長さんが言いましたように、合同でやりましたというのは一つの方法でしょうけれども、何か学校行事の中でそういうものができないかと思しますので、ご検討をいただきたいと思います。

【野口教育長】

ありがとうございました。

今日の新聞の1面にも、次の学習指導要領の中身が少し出ていました。今年度中に告示される予定ですが、今度の新しい指導要領の大きなポイントというのが、「地域に開かれた学校」ということで聞かれたと思いますが、これから言葉が変わります。「地域とともにある学校」という名前に変わります。

それから、地域の方々に学校のこと、子供たちが今何を学んでいるかをしっかりと知っていただくということで、社会に開かれた教育課程、これも大きなキーワードとなってこれから出てくると思っています。

そんな中で、地域の方々が学校の中にどんどん入っていただけるような、そのような考え方はこれからもっと広がってくるのではないかと私は捉えています、今ほど学校行事の中に地域の方々が入れないかというところに2つの意味があったと思っています。

1つは、その行事を見てみたいということ。それから、実際に参加してみたいということです。基本的には、学校の演芸とか演劇ですね。長田中学校は演劇がとても盛んですし、他の中学校でも合唱祭とかしていますが、保護者の方々には結構観ていただいています。

学校と一度話をさせていただくといいと思います。金沢市の学校で地域の方々がそういったものをご覧になります。

実は明日の夜、ある中学校で吹奏楽部の演奏会があるんですが、そちらも地域の方が全員参加されてお聞きになるということですので、学校と一度お話しいただくと随分開かれる部分があるのではないかと思います。

それから、運動会等の参加という意味があります。学校はケガの問題とかいろいろとろが少し気になっていると思っていますが、これについても学校で地域と一緒に運動会のプログラムを作った、というところも見受けられますので、基本的には学校の校長先生等とお話しいただくのがいいかと思います。

教育委員会は、そのことについて、これはダメとか、あれは行ってはいけないとか言うつもりはありません。

【大徳地区連合町会】

道路、交通のことで、50m道路と海側幹線の交差点、東京インテリア付近ですが、海みらい図書館から北へ向かっていく時に、50m道路からの右折が2車線になっています。そして、直線は1車線。そのために、車の通行量の違いでずっと渋滞するんです。

その辺の交通状況をもう少しお調べいただいて、右折を1つにして、直進あるいは左折を2車線で利用する方策に変えられないかと思いますが、市としてその辺の調査等をされたことはありますか。

【山野金沢市長】

場所はわかりますが、申し訳ない。状況をちょっと確認させてください。多分、これは市だけで決められるテーマではありませんので、状況を確認させていただいて、警察を始め、担当部局と今一度現場を確認しながら、またご返事させていただければと思います。

【大徳地区連合町会】

熊本の地震が起きてまだ真新しいということで、皆さんそれぞれ心配していると思いますが、金沢の活断層もだんだん危険なところに入ってきているというのは新聞等で皆さんもご存じだと思います。いつ地震が起きるかわからない。

地震が起きた時に自分の身を守るという意味では、それぞれが考えていかなきゃならないと思っていますが、その後の津波については、大徳地区がすり鉢の底のように大変浅く、海拔が低くなっている地域です。東北の震災では、道路が一本通って、その高架の道路の右と左では建物の壊れ方が全然違っていたというのを実際に見ていますが、大徳の真ん中は外環状線が通っています。この外環状線、これは国の大きな事業だと思いますが、計画では高架の形になっています。まだ何十年先かわかりませんが、この道路を高架ではなく、ぜひ土盛りにして作っていただきたいなど。そうすれば、災害時には津波も止められるし、万が一、そこまで津波が達しなければ、道路に駆け上って命が助かる、ということが多く生まれてくるのではないかと思います。こんな話はまだ計画的にはできそうにないことは重々承知ですが、もし市で、国に対する諮問ができるものなら、土盛りの道路を作っていただきたいと思います。

それから、すぐには間に合わないということですので、実は民間の方々から、もしそういう場合には、うちの高い建物を使っていいよ、との答えを幾つかいただいています。来年もまた一つ提携しますので、大変ありがたいなと思います。金沢市の施設でいいですと学校が一番先の避難場所になりますから学校へ逃げ込めばいいんですが、大徳地区は学校だけでは絶対に収容できません。少しでも多く高い建物が欲しいところです。

実は、木曳野小学校の横に城西市民体育館があります。あれがそろそろ建て替えかなと思われそうですが、もし建て替える計画があるようでしたら、1階を開けた形で2階建ての体育館。そうすれば、そこに最低逃げ込める。

地震で津波の予測は約3.8メートルという計画になっていますので、下に3メートルぐらい上げて空間を作っていただければ、その上は避難場所になるんじゃないかと思います

ので、ぜひこのことを、前倒しで建て替えをお願いできないかと思ひます。

【浅川土木局長】

私から、海側幹線の件についてお答えしたいと思ひます。

お話がありましたように、海側幹線については、今、側道部分ができているところで、本線部分がまだということでございます。高架形式なのか盛り土形式なのかは、今のところまだ決まっていないうことですが、県に確認したところ、事業主体そのものも誰になるかは未定だという返事はいただひています。

津波の話ですが、東日本大震災を見ると非常に不安ではあります、平成24年の4月に石川県で津波浸水想定区域図というのを発表しています。大徳地区について言ひますと、金沢港と犀川に面するところで浸水が想定されているわけですが、海側幹線まで津波は来ないのではないかという想定になっています。

その中で、もう少し先の話になるわけですが、今日のお話については県とも話をさせていたひきたいと思ひますし、一般的に道路を作る場合のことを言ひますと、経済性であったり、土地利用の状況、実際に作る時に近隣状況がどうなっているかも当然出てきますし、そんなことを総合的に勘案しながら決定していくことになろうかと思ひますので、今のお話を伝えた上で、将来にも今のお話が伝わるようにぜひしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

【大徳地区連合町会】

今の話で想定ということがありましたが、災害というものは想定外が普通ですので、その点よろしくお願ひします。

【詩丘文化スポーツ局長】

今ほどの話の中に、ご提案の中に城西市民体育館の件があったかと思ひます。城西市民体育館につきましては、実は平成25年に大規模改修を行ひまして、屋根と外壁の改修を行ったところでございます。

そういうこともござひまして、建て替えのご要望でございますが、直ちにとひるのは、なかなか難しいと思ひています。しかし、今ほどのご提案のとおり、体育館は単に技術の向上とか、地域の皆さんの健康増進というのが非常に大事だと思ひていますが、そういう

ことばかりではなくて、地域コミュニティの醸成とか、あるいは今ほどの防災拠点としての位置づけに大変重要な役割を果たしていることは重々承知していますので、今後、将来的に建て替えとなった時には、地域の皆様のご意見を十分にお伺いして、そういった機能も含めた上での建て替えを考えていきたいと思えます。

前倒しについては検討させていただきます。

【西校下町会連合会】

先日、金沢市の土砂災害講座ですか、これで大桑地区の防災拠点広場を見学させていただきました。聞きましたら、大桑の施設は東部地区を見据えた施設であることをお伺いしました。

地震は別に東部だけではなくて、西部にもありますので、ぜひ駅西地区にもあのような立派な施設を作っていただけないものかと思っています。

磯部町の城北市民運動公園に備蓄倉庫を1棟持っているということですが、大桑の施設を見ますと、倉庫の他にいろいろな施設がございましたので、ぜひこちらにも何か考えていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。

【中川危機管理監】

金沢市内の防災拠点広場では、大桑の施設が昨年4月に完成しました。それより先に、大和町に大きな防災拠点広場があります。その大きな防災拠点広場に併設するような形で防災倉庫も備えてあります。

金沢市内での避難の重要性を踏まえ、いろんな方向から避難できる形が一番望ましいと思っています。

駅の西側地区については、将来的に有効な土地の確保等の課題もありますので、今後、少し研究させていただければと思います。

【西校下町会連合会】

今のお話にもリンクするかと思いますが、ぜひ西地区に市役所の第二庁舎を建設していただくわけにはまいりませんかでしょうか。

防災の関係も合わせて、拠点となるものをこちらに用意していただければ、大徳、戸板、西もちろんそうですし、この8号線を挟んで鞍月もずっと人口が増えつつあります。そ

ういう意味では、将来、金沢の副都心と言っても過言ではない場所になると思いますし、なりつつあります。

そこで、この西地区に第二庁舎をすることにより、たとえば東側に高速道路の金沢東インターがありますし、それから西側には松島の金沢西インターがあります。そのちょうど真ん中の西地区に拠点を置くと、これは武田信玄がよく使ったという鶴翼の陣、いわゆる鶴が両翼を広げて包み込む形で攻める、というものがあるそうですが、この西地区に第二庁舎を置くことによって、金沢を守るための鶴翼の陣ができるのではないかと思います、市長の英断をお願いしたいと思います。

【山野金沢市長】

今日もいろんなご提案をいただいて、幾つか研究させてほしいと言いましたけど、僕、これはちょっと研究させてほしいと言えません。やっぱりなかなか現実的じゃないと思います。ここは申しわけない。これはもう明確に申し上げたいと思います。

ただ、金石の市民センターもあります。湊の市民センターもあります。まさにここの保健所は先ほど保健局長からお話ありましたように子育ての拠点になるところでもありますし、我々は、先ほどから出ている防災の点も含めて、石川県庁とさまざまな連携を密にとっていますし、私も毎日とは言いませんが、毎週のように県庁に足を運んで、いろんな会議でコミュニケーションをとっています。

確かに、最新の防災拠点広場があるわけではありませんが、既存の施設を有効に使っていきながら、また、まさに今、ここを改修しようとしていますように、改修をしながら、その機能性を高めることで、西部地区全体の市民生活の安定のために取り組んでいるところでもありますので、思いはよくわかります。思いはよくわかりますし、その思いに応えられる施設の改修であったり、これからの連携をしっかりとっていかなければいけないということはもう、そういう思いでおっしゃったと受けとめていますので、できますけど、ただ、ハード的に第二庁舎的なものは、申しわけない、今の段階ではいい答えはできません。

ただ、繰り返しになりますが、機能は高めていくということ。我々もノウハウを蓄えていくということ。そして、その連携をしっかりとっていくということ。県庁もありますので、県との連携もしっかりとっていきながら、お住まいいただいている皆さん方が快適に生活できるように取り組んでまいります。

(5) 市長まとめ

【山野金沢市長】

本日は、皆さん、本当にありがとうございました。

金沢かがやき発信講座ですが、ぜひご利用ください。町会連合会であったり、町会であったり、PTAであったり、婦人会であったり、公民館であったり、いろんな研修をされていらっしゃると思いますが、ぜひ金沢かがやき発信講座でご利用いただければ、市の職員が直接出向いて、金沢市市政の施策について丁寧に説明させていただきたいと思いますので、ぜひご利用をいただければと思っています。

僕、最近、このまちづくりミーティング、いつも最後、同じことを言って終えていますので、今日ここでも同じことを申し上げたいと思います。質問ありませんか。なかなか手挙げられませんよね。たくさん人がいる時に、これはどうなっているんだろう、あれ聞きたいなと思ってもなかなか勇気が要ると思っています。

もちろん、その後おっしゃっていただいても結構ですが、僕は自分の住所も電話番号もファックス番号も全部オープンにしています。自分のホームページも、ブログも、フェイスブックも、ツイッターも、メールアドレスも完全にオープンにしています。いや、なかなか手を挙げて発言できないと。手紙書くのも、市役所に電話するのも、という方は、ぜひそんな形で、直接僕に言っていただいても結構です。

いろんな市政の細かいことについては担当部署からお答えさせていただくことはあるかもしれませんが、僕はきちんと見ましたよというご返事は必ずします。僕が直接答え、僕の個人的なことであったり、金沢市の大きな方向性は僕が直接お答えをいたします。

できれば僕、家族もいますので、家の電話やファックスにはできるだけご遠慮いただいたらうれしいのですが、それ以外でしたら、必ずお聞きをして、必ず拜見もして、必ず返事をします。そんなにないだろうと思うかもしれませんが。これが意外と結構あるんです。意外と僕のところへ直接メール等々でご意見をいただきます。僕がお答えできるものはきちんとお答えしまして、ちょっと専門的なことだとか、他の自治体の例なんかも含めてお話しする時には、僕も一回返事をして担当部署からご返事させていただいていますので、どうぞ皆さんのいろんなご意見お聞かせいただければと思いますし、そんなご意見を聞いていながら、さまざまな施策を作っていくのが僕らの仕事ですので、どうぞお力添えをいただければと思います。

本日はご多用なところをお越しいたきまして、本当にありがとうございました。